

平成二十年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 平成二十年二月一日～四月末

投句数 二、〇七五句

特選三句

天

句の縁人の縁や虚子祀る

香川県高松市 島谷 勝

地

過ぐる駅停まる駅にも花明り

大阪府松原市 加藤 絢子

人

江ノ電のゆれていきなり春の海

神奈川県鎌倉市 前田 純子

入選句

一般の部

観音のかんばせ白き花の冷え

神奈川県横浜市栄区

葭谷健一

橋いくつ春の海へと滑川

神奈川県鎌倉市

山本腆亮

みどり児のお宮参りや初桜

神奈川県横浜市南区

中村重次郎

海難像沖へ手を挙ぐ春の月

神奈川県鎌倉市

遠藤金子

鎌倉の花美しき観世音

長崎県西彼杵郡長与町

一瀬照子

初蝶のひるがへり舞ふ源氏山

神奈川県鎌倉市

兵藤寿恵

人力車しばしとどめて春惜しむ

埼玉県北埼玉郡騎西町

黒川良子

岩はだの藻を遊ばせる春の潮

神奈川県鎌倉市

中久喜皓

切通し抜けければ海や春の風

神奈川県鎌倉市

村関昭代

轉りを四方に零して瑞泉寺

神奈川県鎌倉市

萩野英利

入相の鐘遙かなり花の雲

神奈川県横浜市港南区

雑賀義久

湯通しの箸も染らん蓬かな

東京都新宿区

貞住昌彦

実朝の称へし海の若布干す

埼玉県狭山市

古谷彰宏

一握の砂に光るや櫻貝

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

石仏に光あまねし福寿草

神奈川県藤沢市

若松明弘

鶯に迎へられけり円覚寺

東京都大田区

中村日出子

大仏を見上げる子らに風光る

東京都世田谷区

原科節子

風光る一の鳥居を真直ぐに

神奈川県鎌倉市

小林貞夫

落椿踏み行く先の石仏

神奈川県横浜市港南区

金子きよ

大佛の空ふかぶかと二月かな

愛媛県西条市

岡田貞子

(順不同)

入選句

子供の部

おひなさま大仏さまもかざりたい

東京都江戸川区

小柳友惟

残り雪そのうえリスが走って行く

東京都八王子市

小山内美穂

段葛桜咲くころ通りたい

東京都八王子市

杉本真由子

うめのはなかげにゆられてにおいます

東京都世田谷区

野村実央

春が来て出会いと別れ繰り返す

静岡県静岡市清水区

杉山瑞穂

桜さきみんなで来たよ鎌倉に

福島県双葉郡楢葉町

根本みずき

あたたかな風がふきます円覚寺

東京都世田谷区

長橋里咲

うぐいすのおんがくをきくえんがくじ

東京都世田谷区

工藤沙織

源氏山桜の下でお弁当

東京都世田谷区

松尾勇弥

鎌倉の大仏つつむ春の風

東京都世田谷区

俣野匠哉

(順不同)